

び しゃもんてんぞう
毘沙門天像

- ◇ 指定日 昭和37年4月18日
- ◇ 所在地 小山田
- ◇ 所有者 小山田神社

毘沙門天は四天王のひとつ^{たもんてん}多聞天のことで、北方の守護神とされています。

左手に^{ほうとう}宝塔を持ち、右手を大きくかざし、^{じゃき}邪鬼を踏まえた姿は力強く、彫りは簡潔ながら鋭く素晴らしいもので、鎌倉時代の制作とみられます。

一木造りで内ぐりはなく、肘から先は両腕とも後に補われたものとみられます。

頭は^{まげ}髷を結び、正面に飾り冠を付け、体には甲冑をまとい、^{ふっこう}腹甲に^{しかみ}獅噛を備えています。

小山田神社所蔵の寛政3年(1791年)の^{ぼんしょう}梵鐘には、「毘沙門者雲慶聖之作佛也」の銘文が見られます。



総高 60.5cm 幅 26.8cm 奥行 14.7cm